



江 村 治 樹 教 授

江村治樹教授略歴・業績

〈略 歴〉

昭和 22 年 6 月 14 日 京都府舞鶴市に生まれる

学 歴

昭和 41 年 3 月	京都府立西舞鶴高等学校卒業
昭和 41 年 4 月	神戸大学文学部入学
昭和 46 年 3 月	同 東洋史学科卒業
昭和 46 年 4 月	名古屋大学大学院文学研究科修士課程史学地理学科東洋史学専攻入学
昭和 49 年 3 月	同 修了
昭和 49 年 4 月	名古屋大学大学院文学研究科博士課程史学地理学科東洋史学専攻進学
昭和 50 年 3 月	同 退学

職 歴

昭和 50 年 4 月	京都大学人文科学研究所助手（東洋考古学）
昭和 56 年 11 月	名古屋大学文学部助教授（東洋史学）、同文学研究科担当
平成 7 年 5 月	名古屋大学文学部教授（東洋史学）、同文学研究科担当
平成 8 年 5 月	名古屋大学文学部史学科長（併任。平成 9 年 3 月まで）
平成 12 年 4 月	名古屋大学文学研究科教授（東洋史学）に配置換え。同文学部併任。 現在に至る。
平成 13 年 12 月	名古屋大学教養教育院統括部（兼任。平成 14 年 3 月まで）
平成 15 年 4 月	名古屋大学評議員（併任。平成 16 年 4 月から名古屋大学研究教育評議会評議員兼務。平成 17 年 3 月まで）
平成 16 年 4 月	名古屋大学文学研究科副研究科長（兼務。平成 17 年 4 月まで）
平成 17 年 4 月	名古屋大学教育研究評議会評議員（兼務。平成 18 年 3 月まで）

学 位

昭和 49 年 3 月	文学修士「『賢』の觀念より見たる西漢官僚の一性格」
平成 10 年 4 月	博士（歴史学）「春秋戦国秦漢時代出土文字資料の研究」

学会活動

平成 10 年度～現在	名古屋大学東洋史研究会会長
平成 10 年度～現在	東方学会東海地区委員
平成 10 年度～現在	中国出土資料学会理事
平成 13 年度～現在	東洋史研究会評議員
平成 11 年度～ 15 年度	日本秦漢史研究会副会長
平成 16 年度～ 17 年度	同 会長

海外での研究歴

昭和 53 年 7 月～ 11 月	文部省科学研究費補助金：京都大学・中央アジアの考古学調査 (イラン、アフガニスタン、インド)
平成 5 年 3 月～平成 6 年 1 月	文部省長期在外研究員：中国出土文字資料に関する調査研究 (中華人民共和国北京大学、連合王国大英博物館)

学外委員等の委嘱

平成 21 年～ 22 年	特別研究員等審査会専門委員及び国際事業員会書面審査委員
---------------	-----------------------------

出張講義

昭和 55 年度	滋賀大学教育学部
昭和 58 年～平成 17 年度	南山大学文学部
昭和 59 年度	大阪市立大学文学部 (集中講義)
昭和 61 年度	愛知大学文学部
昭和 62 年度	京都大学文学部
昭和 62 年度、平成元年度、4 年度	神戸大学文学部 (集中講義 3 回)
平成 2 年度、11 年度、16 年度、20 年度	金沢大学文学部 (集中講義 4 回)
平成 3 年度	名古屋市立大学
平成 8 年度	三重大学教育学部
平成 9 年度～ 11 年度	奈良女子大学文学部 (集中講義 3 回)
平成 10 年度	静岡大学人文学部 (集中講義)
平成 12 年度～ 17 年度	皇學館大學文学部 (集中講義 6 回)
平成 13 年度	東北大学文学部 (集中講義)
平成 21 年度～ 23 年度	愛知県立大学外国語学部
平成 22 年度	鹿児島大学法文学部 (集中講義)

〈業 績〉

単 著

- 1 『春秋戦国秦漢時代出土文字資料の研究』 汲古書院、2000 年 2 月、788 頁
- 2 『戦国秦漢時代の都市と国家—考古学と文献史学からのアプローチ』 白帝社、2005 年 9 月、308 頁
- 3 『春秋戦国時代青銅貨幣の生成と展開』 汲古書院、2011 年 11 月、480 頁

共 著

- 1 『中国の美術 5 銅器』 淡交社、1982 年 9 月、23 頁
- 2 『アジア歴史研究入門 1 中国 I』 同朋舎出版、1983 年 11 月、15 頁
- 3 『ひと、もの、こころ 甲骨文字』 天理教道友社、1987 年 2 月、13 頁
- 4 永田英正編『漢代石刻集成』 同朋舎出版、1994 年 2 月
- 5 永田英正編『アジアの歴史と文化 1 中国史古代』 同朋舎出版、1994 年 5 月、28 頁
- 6 『中国の群雄—覇者への道』 講談社、1997 年 12 月、54 頁
韓国版 1999 年
台湾版 2001 年

編 著

- 1 江村治樹他編『名古屋大学文学部創設 50 周年紀年公開シンポジウム・1998 いま、歴史資料を考える』 名古屋大学文学部史学科、1999 年 11 月、125 頁
- 2 『名古屋大学文学研究科・陝西師範大学国際学術討論会 日中文化交流の歴史記憶と展望 2007 年 11 月・中国・西安』 名古屋大学大学院文学研究科、2008 年 3 月、175 頁
- 3 侯甬堅、江村治樹編『陝西師範大学・名古屋大学国際学術会議 中日文化交流の歴史記憶及其展望』 陝西師範大学出版社、2008 年 10 月、397 頁
- 4 『名古屋大学文学研究科・陝西師範大学共催国際シンポジウム 人文学研究方法の現状と展望—現地調査 (Field Work) を中心に—』 名古屋大学大学院文学研究科、2009 年 3 月、293 頁

論 文

- 1 「「賢」の観念より見たる西漢官僚の一性格」 東洋史研究 34—2、1975 年 9 月、頁 29-49
- 2 「漢代官僚論の研究史的考察—とくに「主・客」論争によせて—」 名古屋大学東洋史研究報告 3、1975 年 3 月、頁 75-88
- 3 「西漢官僚の「賢」と「能」」 名古屋大学東洋史研究報告 4、1976 年 3 月、頁 37-53
- 4 「侯馬盟書考」『内田吟風博士頌寿記念東洋史論集』 同朋舎、1978 年 8 月、頁 65-102
- 5 「春秋戦国時代の銅戈・戟の編年と銘文」 東方学報 52、1980 年 2 月、頁 63-123
- 6 「戦国秦漢簡牘文字の変遷」 東方学報 53、1981 年 3 月、頁 233-298
- 7 「雲夢睡虎地出土秦律の性格をめぐって」 東洋史研究 40-1、1981 年 6 月、頁 1-26
- 8 「東京国立博物館保管 陳介祺旧蔵の封泥—とくにその形式と使用法について」 ミュージアム 364、1981 年 7 月、頁 4-17

- 9 「中国古代官僚制形成に関する一視角」 谷川道雄編『中国士大夫階級と地域社会の関係についての総合的研究』昭和 57 年度科学研究費補助金総合研究 (A) 研究成果報告書、1983 年 3 月、頁 23-31
- 10 「中国戦国時代の無内銅戈について」『樋口隆康教授退官記念 展望アジアの考古学』中央公論社、1983 年 3 月、頁 501-514
- 11 「戦国時代出土文字資料概述」『戦国時代出土文物の研究』京都大学人文科学研究所、1985 年 3 月、頁 351-473
- 12 「戦国三晋都市の性格」名古屋大学文学部研究論集 95、1986 年 3 月、頁 33-64
- 13 「青銅礼器から見た春秋時代の社会変動」名古屋大学文学部研究論集 101、1988 年 3 月、頁 55-98
- 14 「春秋時代青銅器銘文の書式と用語の時代的変遷」名古屋大学文学部研究論集 104、1989 年 3 月、頁 35-52
- 15 「呉越の興起について」 谷川道雄編『中国辺境社会の歴史的研究』昭和 63 年度科学研究費補助金総合研究 (A) 研究成果報告書、1989 年 3 月、頁 4-11
- 16 「戦国時代の都市とその支配」東洋史研究 48-2、1989 年 9 月、頁 195-234
- 17 「春秋時代青銅器銘文の書式と用語の時代的変遷 (続)」名古屋大学文学部研究論集 110、1991 年 3 月、頁 49-69
- 18 「春秋時代金文の書式及其用語」『第三届中国文字学国際學術研討会論文集』台湾・輔仁大学、1992 年 3 月、頁 87-102
- 19 「日本における先秦史の研究動向と課題」名古屋大学文学部研究論集 116、1993 年 3 月、頁 43-56
- 20 「春秋戦国時代青銅器銘文の書式」永田英正編『中国出土文字資料の基礎的研究』平成 4 年度科学研究費補助金総合研究 (A) 研究成果報告書、1993 年 3 月、頁 24-30
- 21 「戦国時代の都市社会」森正夫編『旧中国における地域社会の特質』平成 2 ～ 5 年度科学研究費補助金総合研究 (A) 研究成果報告書、1994 年 3 月、頁 11-16
- 22 「中国古代都市遺跡の現状と課題— 1993 年、陝西、山東、山西、河南、河北省の都市遺跡を見学して」名古屋大学文学部研究論集 122、1995 年 3 月、頁 9-27
- 23 「戦国三晋諸国の刑法典の特質について」梅原郁編『前近代中国の刑罰』京都大学人文科学研究所、1996 年 12 月、頁 13-34
- 24 「中国戦国時代における法令の形式—とくに出土簡牘を通して—」森正夫編『「中国」を中心とするアジア史高等教育用史料の体系的整理ならびに研究史的分析』平成 7~8 年度科学研究費補助金一般研究 (A) 研究成果報告書、1997 年 3 月、頁 6-19
- 25 「戦国時代における都市の発達と秦漢官僚制の形成」『岩波講座世界歴史 3』岩波書店、1998 年 1 月
- 26 「春秋・戦国・秦漢時代の都市の規模と分布」名古屋大学文学部研究論集 131、1998 年 3 月、頁 79-121
- 27 「戦国新出土文字資料概述・補訂一貨幣部分」名古屋大学文学部研究論集 134、1999 年 3 月、頁 95-116
- 28 「秦文化的特色及其歴史上的意義」『兵馬俑 秦文化』国立歴史博物館 (台北)、2000 年 12 月、頁 120-136

- 29 「春秋時代盟誓参加者の地域的特質」名古屋大学東洋史研究報告 25、2001 年 3 月、頁 51-66
- 30 「古代都市社会」『殷周秦漢時代史の基本問題』汲古書院、2001 年 6 月、頁 27-61
- 31 「戦国時代尖足布・方足布の性格」名古屋大学文学部研究論集・史学 49、2003 年 3 月、頁 1-46
- 32 「中国における古代青銅貨幣の生成と展開—刀銭と布銭のテキストとしての特性」統合テキスト科学研究第 1 巻 2 号、2003 年 12 月、頁 21-62
- 33 「中国における古代青銅貨幣の生成と展開（二）—円銭のテキストとしての特性」統合テキスト科学研究第 2 巻 2 号、2005 年 3 月、頁 1-29
- 34 「中国における古代青銅貨幣の生成と展開（三）—橋形方足布のテキストとしての特性」統合テキスト科学研究、第 3 巻 2 号、2006 年 3 月、頁 1-28
- 35 「中国における古代青銅貨幣の生成と展開（四）—齊大刀のテキストとしての特性」統合テキスト科学研究、第 4 巻 2 号、2007 年 3 月、頁 1-29
- 36 「中国における古代青銅貨幣の生成と展開（五）—テキストとしての貨幣の形態に関する覚書」統合テキスト科学研究、第 4 巻 2 号、2007 年 3 月、頁 31-38
- 37 「古代城市社会」佐竹靖彦主編『中国史学的基本問題 殷周秦漢史学的基本問題』中国、中華書局、2008 年 9 月、頁 20～47
- 38 「中国方孔圓銭（秦半兩）的出現与日本的青銅貨幣」（侯甬堅、江村治樹編『陝西師範大学・名古屋大学国際学術会議 中日文化交流の歴史記憶及其展望』（陝西師範大学出版社、2008 年 10 月）頁 203～214
- 39 「中国における古代青銅貨幣の生成と展開（六）—楚貝貨の性格」名古屋大学文学部研究論集、史学 56、2010 年 3 月、頁 1～39
- 40 「河南竜山・二里头・殷周都市の特質—2011 年、中国古代都市遺跡調査報告」名古屋大学文学部研究論集、史学 58、2012 年 3 月

翻 訳

- 1 「中国中世の説話—太平広記の世界 4・狐の世界」伝統と現代 33、1975 年 5 月、頁 148-151、155-157
- 2 「新たに得られた敦煌漢簡」夏鼐『中国考古学研究』学生社、1981 年 3 月、頁 127-167
- 3 龐樸「七十年代出土文物—その思想史的、科学史的意義」みすず 255、1981 年 11 月、頁 50-62
- 4 常任俠「中国の絵画芸術」『中国美術史談義』淡交社、1981 年 6 月、頁 31-86
- 5 常任俠「漢唐の壁画芸術の発展からみた永泰公主墓の壁画について」『中国美術史談義』淡交社、1981 年 6 月、頁 88-119
- 6 任周方「宝鶏における西周時代の考古学的発見と研究成果の概要」『中国陝西省宝鶏市周原文物展』岐阜市博物館、1988 年 7 月、頁 167-173

書 評

- 1 楠山修作著『中国古代史論集』東洋史研究 36-2、1977 年 9 月、頁 120-125
- 2 貝塚茂樹著『貝塚茂樹著作集 1 中国の古代国家』史林 60-6、1977 年 11 月、頁 147-152

- 3 「1977年の歴史学会一般、周、春秋」史学雑誌 87-5、1978年5月、頁196-203
- 4 「1983年の歴史学会一般、周、春秋」史学雑誌 91-5、1984年5月、頁181-187
- 5 飯島武次著『夏殷文化の考古学研究』古代文化 36-1、1986年1月、頁42-44
- 6 五井直弘編『中国の古代都市』東洋史研究 55-2、1996年
- 7 松井嘉徳『周代国制の研究』東洋史研究 62-3、2003年12月、頁69-76
- 8 下田誠『中国古代国家の形成と青銅兵器』歴史学研究 855、2009年、頁53-55
- 9 池田雄一『中国古代の律令と社会』日本秦漢史学会会報 10、2010年、頁206-218

紹介

- 1 「伊藤道治先生の業績紹介」神戸大学史学年報 3、1988年3月、頁113-120
- 2 「中国史の重要史料—『馬王堆帛書戦国縦横家書』」東方 161、1994年8月、頁25-28
- 3 「『史記』の東周関係紀年の全面的再検討—平勢隆郎著『新編史記東周年表』」東方 185、1996年8月、頁17-19
- 4 「考古遺物から古代中国の神々の実像に迫る—林已奈夫著『中国古代の神々』」アジア遊学 48、2002年8月5日
- 5 「黄錫全著『先秦貨幣通論』」東洋史研究 62-4、2004年3月、頁151-154

科学研究費並びにその報告書

- 1 昭和53年度科学研究費補助金、奨励研究 (A)
- 2 『馬王堆出土医書字形分類索引』(主編)、昭和61年度科学研究費研究成果報告書(坂出祥伸代表「中国古代養生思想の総合的研究」)、1987年3月、179頁
- 3 『春秋・戦国・秦漢時代の都市の構造と住民の性格』(単著)、平成元年度科学研究費研究成果報告書、1990年3月、89頁
- 4 『春秋戦国秦漢時代の都市とその周辺』(単著)、平成20年度科学研究費補助金、基盤研究(C)研究成果報告書、2009年度3月、194頁
- 5 平成23—25年度科学研究費補助金、基盤研究(C)「中国古代都市社会形成論」

学会発表

- 1 昭和57年度東洋史研究会大会(京都)「戦国時代の楚文化と朝鮮—無内銅戈をてがかりに」1982年11月2日
- 2 第31回国際アジア・北アフリカ人文科学会議(東京)「雲夢睡虎地出土「秦律十八種」の性格」1983年9月3日
- 3 第三回中国文字学国際研討会(台湾・輔仁大学)「春秋時代青銅器銘文の書式と用語」1992年3月22日
- 4 日本秦漢史研究会、中国史学会シンポジウム(東京)「先秦・秦漢史の基本問題」ディスカッサント、平成7 1995年11月13日
- 5 関于丁村文化和晋文化国際学術討論会(中国・太原)「侯馬古城群と盟誓遺跡」1996年9月2日
- 6 名古屋大学史学地理学シンポジウム(名古屋)「中国古代史研究と文字資料」1998年9月

- 7 平成 12 年度中国史学会（東京）コメンテーター 2000 年 9 月
- 8 長沙三国呉簡及び百年来簡帛発見と研究国際学術論会（中国・長沙）両漢組（一）第二場
主持人、2001 年 8 月 18 日
- 9 平成 13 年度東洋史研究会大会（京都）「戦国時代尖足布・方足布の性格について」2001 年
11 月 3 日
- 10 中国秦漢史研究会年会及び国際学術討論会（中国・西安）「前漢前半期の都市と都市支配」
2002 年 8 月 13 日
- 11 洛陽市文物工作隊・洛陽市錢幣学会主催学術討論会（中国・洛陽）「戦国時代的尖足布・方
足布の性格」2002 年 8 月 22 日
- 12 陝西師範大学・名古屋大学国際学術討論会（中国・西安）「中国方孔円錢（秦半兩）の出現
と日本の青銅貨幣」2007 年 11 月 23 日
- 13 名古屋大学・陝西師範大学共催国際シンポジウム（名古屋）「中国古代都市研究と現地調査
—蔚県・涿鹿県の都市遺跡調査」2008 年 11 月 23 日
- 14 日本秦漢史学会第 21 回大会シンポジウム（静岡大学）「秦漢帝国の形成と地域—とくに都
市の視点から—」2009 年 10 月 24 日

講 演

- 1 昭和 56 年度京都大学人文科学研究所夏期講座（京都）「雲夢出土秦律と秦の地方統治」
1981 年 8 月 2 日
- 2 玄美社講演会（福井）「侯馬盟書等を中心として」1987 年 8 月 4 日
- 3 白鶴美術館講演会（神戸）「春秋戦国時代の青銅器」1987 年 11 月 8 日
- 4 朝日カルチャーセンター（名古屋）「神々と王権—殷周国家の性格」1990 年 4 月
- 5 仏教大学東洋史講座（京都）「雲夢秦簡より見た秦の法律制度」1992 年 8 月 11 日
- 6 日本古代史セミナー・秦の始皇帝とその時代（名古屋 NHK）「秦の統一と地域社会」1994
年 11 月 26 日
- 7 千種社会教育センター（名古屋）「悠久の歴史をもつ中国文化の魅力」1995 年 5 月
- 8 中国古代漆器展講演会（名古屋）「中国古代文字に歴史を読む」1998 年 9 月 25 日
- 9 中村生涯学習センター（名古屋）「中国古代人物伝—激動の春秋戦国時代を生きた人々—」
2000 年 5 月～7 月、6 回
- 10 中村生涯学習センター（名古屋）「考古学から中国古代史を考える」2001 年 5 月～7 月、6
回
- 11 瑞穂生涯学習センター（名古屋）「中国古代人物伝—激動の春秋戦国時代を生きた人々—」
2002 年 5 月～7 月、6 回
- 12 名古屋大学中国語学文学会例会（名古屋・金城大学）「西安・洛陽の陵墓について」2002
年 11 月 24 日
- 13 名古屋大学文学研究科公開シンポジウム（名古屋）「中国文化の広さと深さ—人・物・詩の
心」（中国哲学、中国文学、東洋史学共催、名古屋・名古屋大学）「中国古代青銅器の魅力
—殷周から春秋戦国へ」2003 年 3 月 15 日
- 14 21 世紀 COE 統合テキスト科学の構築オープンレクチャー（名古屋）「中国古代青銅貨幣の
生成—尖首刀と空首布—」2004 年 5 月 13 日

- 15 泉屋博古館（京都）「春秋戦国時代の青銅器工芸の勃興とその時代背景」2004年6月12日
- 16 中国人民銀行貨幣博物館（中国、北京）「中国先秦時代青銅貨幣・尖首刀、空首布、円錢の性格について」2005年8月9日
- 17 21世紀COE統合テキスト科学の構築オープンレクチャー（名古屋）「中国における穴あき青銅円錢の出現と展開」2005年9月14日
- 18 大東文化大学文学部中国学科春期講演（埼玉県川越市）「春秋戦国時代の社会変動と青銅器」2006年5月24日
- 19 21世紀COE・統合テキスト科学の構築オープン・レクチャー（名古屋）「テキストとしての貨幣の形態—中国における古代青銅貨幣の生成と展開」2006年11月15日
- 20 黒川古文化研究所・西宮教育委員会平成19年度夏期講演（兵庫県西宮市）「中国青銅貨幣の生成と展開」2007年7月29日
- 22 昭和区生涯学習センター（名古屋）「古代から中国を考える」2009年1月～2月、4回
- 23 名古屋大学大学院文学研究科公開シンポジウム「紀元前一千年紀考—変容する社会、変化する自然環境—」（考古学研究室主催・名古屋・名古屋大学）「春秋戦国時代の社会変動とその要因」2009年2月21日
- 24 栄中日文化センター（名古屋）「春秋戦国史を読み解く—都市の視点から秦漢帝国の形成を考える」2009年4月～9月、6回
- 25 第25回漢文教育研修会（東京、湯島聖堂）「出土資料から見た戦国時代の都市」2009年7月30日
- 26 名古屋大学大学院文学研究科公開シンポジウム「貨幣が語る世界史」（西洋史研究室主催・名古屋・名古屋大学）「中国古代貨幣の多様性とその統一」2010年3月6日

その他

- 1 「馬王堆出土の帛書について」神戸大学史学研究会会報15、1978年6月、頁6-12
- 2 「春秋・戦国・秦漢出土文字資料の研究」『三島海雲記念財団第23回事業報告書（昭和60年度）』1986年10月、頁196-200
- 3 「スウェーデン・西ドイツ博物館所見の中国古代青銅器」名古屋大学東洋史研究報告12、1987年3月、頁100-111
- 4 「戦国時代の大墓 曾侯乙墓」歴史読本・特別増刊号1987年7月、頁54-61（別冊歴史読本・世界謎の古代文明、1992年9月に再録）
- 5 「上帝と祖先神—祭祀にみる殷周国家の性格」週刊朝日百科・世界の歴史2、1988年11月、頁24-29
- 6 「陶器・瓦」古代文化43-9、1991年9月、頁47-56
- 7 「曾侯乙墓の時代」『特別展 曾侯乙墓』東京国立博物館、1992年3月、頁26-30
- 8 「秦軍強さの秘密とは？ 国家を軍事組織化し中原を席卷」歴史群像シリーズ32・項羽と劉邦・上巻、1993年1月、頁82-85
- 9 「イギリス博物館所見の中国古代青銅武器」名古屋大学東洋史研究報告17、1993年3月、頁74-85
- 10 「漢字統一への道」月刊しにか1995-5、頁22-27
- 11 「呉越の興亡」日中文化研究7・特集長江文明、1995年7月、頁119-126

- 12 「魏—秦をてこずらせた豊かな商工業都市群」歴史群像シリーズ 44・秦始皇帝、1993 年 10 月、頁 134-137
- 13 「韓—“無為”の精神に基づく緩やかな都市支配」歴史群像シリーズ 44・秦始皇帝、1993 年 10 月、頁 138-141
- 14 「晋文化討論会に参加して」日本中国考古学会年報、1995 年
- 15 「甲骨文字・金文」「篆文」月刊しにか 1996-6、頁 14-17
- 16 「消えた漢字・文字」月刊しにか 1997-6、頁 12-17
- 17 「名古屋大学のアジア地域研究」東方学会報 No. 77、1999 年 12 月、頁 13-16
- 18 「始皇帝の統一事業」月刊しにか 2000-2、頁 32-37
- 19 「石鼓文」月刊しにか 2001-3、頁 14-17
- 20 「『長沙三国呉簡および百年来簡帛の発見と研究国際学術研討会』に出席して」日本秦漢史学会報 2、2001 年 9 月、頁 66-80
- 21 「漢字の成立」『文字を読む』九州大学出版会、2002 年 3 月
- 22 「2004 年、長江下游呉越文化調査旅行日誌—杭州・安吉・紹興・上海」、アジア流域文化論研究、第 1 号、東北学院大学オープン・リサーチ・センター、2005 年 3 月、頁 169-180
- 23 『中国歴史研究入門』第Ⅱ部第 1 章「戦国時代」、礪波護・岸本美緒・杉山正明、名古屋大学出版会、2006 年 1 月、頁 44～50
- 24 「2007 年、長江下游呉越文化調査旅行日誌—南京・鎮江・揚州・常州・無錫・蘇州・上海—」アジア流域文化論研究、第 4 号、東北学院大学オープン・リサーチ・センター、2008 年 3 月、頁 22-42
- 25 「春秋戦国時代の社会変動とその要因」『紀元前 1 千年紀考—変容する社会、変化する自然環境』名古屋大学文学研究科、2009 年 12 月
- 26 「秦漢帝国の形成と地域—とくに都市の視点から—」日本秦漢史研究 11、2011 年 3 月、頁 74-91
- 27 「中国古代貨幣の多様性とその統一」『貨幣が語る世界史』名古屋大学文学研究科、2011 年 3 月、頁 5-18

辞典類

- 1 『小学館百科事典』（李悝、卿大夫、晋（周）、宋（周）、鄭、魯）
- 2 弘文堂『科学史技術史事典』（始皇帝、鄭国）
- 3 新潮社『世界文学事典』（石鼓文、侯馬盟書、楚帛書、馬王堆帛書、秦刻石）
- 4 平凡社『中国書道全集 1』（解説：呉王光剣、越王勾踐剣、伍子胥画像鏡、侯馬盟書、陶量、高奴銅石権）
- 5 角川書店『世界史事典』（郢、易姓革命、越、燕、楽毅、合従連衡、韓（戦国）、邯鄲、漢民族、鄴、玉、曲阜、許由、荊軻、恵施、黄河、考公、甲骨文字、勾踐、公孫龍、黄土、氏、社、縦横家、周礼、荀子、春申君、商鞅、諸子百家、稷下の学、晋（周）、慎子、申不害、信陵君、鄒衍、齊（戦国）、姓、西施、山海経、禪讓・放伐、楚（春秋戦国）、曹、莊王（楚）、莊子、宗族、宗法、楚辞、中原、鄭、道家、范蠡、文侯（魏）、平原君、墨家、孟嘗君、邑、楊朱、離騷、魯、老子、老子化胡経、族譜、非攻）
- 6 大修館書店『中国文化史大事典』（春秋戦国時代、燕（戦国）、韓（戦国）、魏（戦国）、卿

大夫、呉（春秋）、勾踐、晋（春秋）、会盟、合従連衡、蘇秦、張儀／符、鑑、薰炉、盒、鍾、節、甌、缶、鈇、鋪首、罽、鑑